

マタニティマークを知っていますか？



このマークは、「健やか親子21」推進検討会において選ばれた最優秀作品です。

気づいたら、思いやりのある行動をお願いします。

電車・バスの中で…

あ、妊婦さんだ！
席をゆずってあげよう！



階段の上り下りで…

大変そうだなあー
手伝ってあげよう



妊娠中、特に初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持するためのとても大切な時期です。しかし外見からは、妊婦であるかどうか判断しにくかったり、「つらい症状」がある場合もあります。もしも、あなたの住んでいる街や職場などで、このマークを付けているお母さんを見かけたら、皆さんからの思いやりある気遣いをお願いいたします。

未来のお母さんと赤ちゃんを みんなのやさしさをサポートしましょう!



どうしてサポートが必要なの?

〈みんなで応援する子育て〉

多くのお母さんたちは、子育て期間中に孤独感や負担感を訴えています。子育てにやさしい社会環境を築くために、皆さん一人ひとりの理解と協力が必要です。

● 子育て支援と地域の連帯

平成16年の意識調査によると、多くのお母さんは妊娠から子供が3歳になるまでの期間、孤独を感じ子育てを行っています。今後は、気軽に利用できる子育て支援センターなどの整備とともに、周りの人たちがいつでも暖かい手をさしのべる、お母さんと赤ちゃんにやさしい街づくりが求められています。

妊娠中又は3歳未満の子どもの母親の意識(平成16年調査)



多くの母親が孤立感の中で子育てを行っている

資料:(財)こども未来財団「子育て中の母親の外出時等に関するアンケート調査結果」(回答1069人)



どんなサポートが必要なの?

電車やバスで席をゆずったり、荷物が重くて大変そうな時などに、思いやりのある気遣いをお願いします。

妊娠中又は3歳未満の子どもの母親の意識(平成16年調査)



外出先で困ること、周りの人たちに手助けしてもらいたいこと。

- 1位 階段の上り下り／エレベーターやスロープがない／段差が多い(225人)
- 2位 バスや電車内で席を譲ってもらえない(93人)
- 3位 歩きタバコ／タバコの煙／禁煙対策が遅れている(66人)



外出先で手助けされたり、勇気付けられたりして嬉しかったこと。

- 1位 バスや電車で席を譲ってくれた(205人)
- 2位 ベビーカーを運んでくれた／たたんでくれた(183人)
- 3位 子供をあやしてくれた／話しかけてくれた／見守ってくれた(121人)

資料:(財)こども未来財団「子育て中の母親の外出時等に関するアンケート調査結果」(回答1069人)



おながが大きくなないと、なかなか妊婦さんってわかりづらいよね。

現在、自治体や各交通機関などで、マタニティマークの入ったキーホルダーやステッカーを、妊婦さんに配布しているところもあります。

おながが目立たなくてもこのマークを付けている妊婦さんを見かけたら、思いやりのある行動をお願いします。(※自治体によっては、独自のマークを定めている場合もあります。)

でも、マタニティマークをつけていれば周りの人が気づきやすいよね。



(キーホルダーの例)

マタニティマークは、厚生労働省のHPから自由にダウンロードできます。詳しい活用方法や内容についてもこちらをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/03/h0301-1.html>



妊やか親子21は、2001～2014年度の母子保健の国民運動です。
厚生労働省